



# 児文研だより

令和5年1月11日

NO. 6

【松本（渡田小）】

【安西（小倉小）】

## 第70回 川崎市立小学校 川崎区学芸大会 報告

令和4年12月1日（木）、12月2日（金）に、「サンピアンかわさき」にて、川崎区学芸大会が行われました。1日目、2日目ともに3校ずつ（計6校）が集まり、練習の成果を発揮し、のびのびと表現する子どもたちの素晴らしい姿が見られました。オンライン協議会では、練習の工夫やご苦労、表現活動を経ての子どもたちの変容などをうかがったり、他校からの感想や意見交流を行ったりし、有意義な時間を過ごすことができました。感染症対策をしながらも熱心にご指導いただいた先生方、本当にありがとうございました。また、運営に際しまして、ご理解ご協力いただき、感謝申し上げます。

### 1 日 目 1 2 月 1 日 （木） 午 前 の 部

#### 『ナマケロ ナマケロ』

大師小学校 4年生

夏休み明けの子ども達がナマケロ星人にとりつかれてしまいそうになるお話。人数が多い中でいろいろ役割が分担されていた。うちわに秋の味覚を描いての紹介やボディパーカッション、迫力のあるダンスなど子どもたちが生き生きと表現していた。主役のてつお君役、先生役の子は台詞が多かったが、上手に演じ劇をまとめていた。ナマケロ星人の衣装が印象的だった。動きがあり、場面ごとに楽しめたので、客席の子ども達が夢中になっていた。担任の先生方は劇の指導が初めてで試行錯誤をして取り組んだということだったが、にぎやかで活気のある舞台だった。

#### 『かえるくんとがまくんはずっといっしょ。だけど・・・』

向小学校 2年生

国語の教科書にある「お手紙」のお話を中心に朗読劇に取り組んだ。国語の学習の発展として「がまくんとかえるくん」シリーズをたくさん読み、その中から気に入った場面を選び、構成した。劇を上演するための練習時間は、学習の中にすべて組み込んで行った。見ていた子ども達から「群読のところがすてき」「声がそろって、心がひとつになる群読ができる」「2年生の全力が見られて良かった」という感想があった。ナレーターのかえるのお面にマイクをつけるなど子ども達が楽しんで工夫している様子が感じられた。いっしょに動く場面など演じ分けがよくできていて、2年生としてすばらしい演技だった。

#### 『にんじゃへの道』

京町小学校 4年生

忍者の修行の様子をコミカルに描き、仲良し3人組が厳しい修行の励ましあって取り組む様子が描かれていた。友情、仲間思いの忍者、主題が伝わってきた。客席の子どもたちが見入るほど、舞台の子ども達が輝いて見えた楽しい舞台だった。トリプルキャストで3人組のコミカルな場面、繊細な心を表現する場面では、演じている子どもの個性が活かされたキャスト構成だった。劇あそびから入って手遊び、歌あそびをしてから劇の練習を始め、劇をやりたいという子ども達の気持ちを高めるように指導を行った。みんなが楽しめるよう、セリフや小道具の工夫をし、成果を上げていた。

〈指導講評〉

川崎市立向小学校教頭 若狭 美加

学芸大会を通しての子ども達の変容は、「大きい声が出せた」「表現ができた」ばかりではありません。劇の練習、表現活動を積み重ねることで成長します。普段はなかなか話さない子がゲームで声を出したり、友達にアドバイスができたりします。日常生活の中で変容していく楽しさを子ども達に味わってほしいです。

## 2 日 目    1 2 月    2 日    ( 金 )    午 前 の 部

### 『あさ田小の楽しい校てい』

浅田小学校 2年生

2年生で、はじめて立つ大舞台だったが、本番は見事に大きな発声と笑顔で演じることができた。原作、つまごかずおさんの「大男の花ぞの」を浅田小の先生方と児童の皆さんでアレンジした。浅田小の校庭にカエルやカラス、コオロギなどがやってきて、人間の子もたちと交流するストーリー。はじめはケンカをするが最後は仲直りし一緒に楽しくダンスを踊るというもの。日々の音楽科の学習も生かし、たくさんの合奏も入ったすてきな舞台だった。子どもたちが楽しそうで、思い切り表現しているという感じが伝わってきた。ダンスも生き生きとしていてよかった。

### 『四谷小エコエコ大作戦！！』

四谷小学校 4年生

4年生の社会科や総合の学習を生かし、環境問題をテーマに構成された創作劇だった。家庭や学校、工場などを舞台にエネルギーや資源の無駄づかいに着目し、どのように改善すべきかを説いた作品。途中にはおばあちゃん役の子が出てきて「もったいないことしてないかい♪」と歌いながら演じるユニークな場面もあった。最後の全員合唱「ぼくらの地球」は圧巻で心打たれるものだった。人数以上の迫力を感じる舞台となった。学習したことをわかりやすくまとめ、表現することができていた。演技のメリハリがあり、幕が閉まる時には全員が静止して動かなかった。すばらしい集中力だった。

### 『過去と未来をつなごう 102年目の宮前小』

宮前小学校 4年生

創立100年を迎えた歴史ある学校にちなんで、その歴史と今を紐解く内容の創作劇だった。最後の場面では全員が舞台上がり、迫力のある合唱を披露していた。コロナ禍で密を避けつつ、どのように演出すべきかを考え、主にストーリーを演じる子と、大道具を作成し後半の舞台で参加する2チームに分けて構成するといった工夫をしていた。どの子も母校に誇りと自信をもって演じる姿が印象的だった。学校と地域の関わり、長い歴史をみんなで作って表現したことがすばらしい。100周年記念歌の歌声もとても美しかった。

〈指導講評〉

川崎市立下布田小学校校長 千野 隆之

参加校に共通して言えることは、みんなで作ったこと、みんなで力を合わせて表現したこと、工夫して生き生きと表現することができたことです。この体験は子どもたちの思い出に残るとともに、必ず今後の力になっていくでしょう。